



平成 24 年 7 月 25 日

各 位

会社名 札幌北洋ホールディングス
(コード番号 8328 東証第 1 部・札証)

平成 25 年 3 月期第 1 四半期の業績（速報値）について

札幌北洋グループの平成 25 年 3 月期第 1 四半期業績の概要について、現時点における見通し（速報値）を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 3 月期第 1 四半期の業績の概要

- ・札幌北洋グループ連結の「コア業務純益」は 97 億円（前年比 14 億円増加）の見通し。株式の減損処理等に伴い「経常利益」は 2 億円（前年比 89 億円減少）、「四半期純利益」は 19 億円（前年比 82 億円減少）となる見通し。
- ・北洋銀行の「資金量末残」は 6 兆 9,707 億円（前年比 1,230 億円増加）の見通し。
- ・北洋銀行の「貸出金末残」は 5 兆 3,626 億円（前年比 2,872 億円増加）の見通し。
- ・北洋銀行の「金融再生法開示債権」は 1,823 億円（前年比 11 億円減少）の見通し。
「開示債権比率（部分直接償却後）」は 2.62%（前年比 0.14 ポイント改善）の見通し。
- ・北洋銀行の「その他有価証券評価損益」は 509 億円（3 月末比 99 億円減少）の見通し。
- ・北洋銀行の「自己資本比率」は 11.2%程度（3 月末比 0.3 ポイント程度上昇）の見通し。

（単位：億円）

	平成 24 年 3 月期 第 1 四半期 (実績)	平成 25 年 3 月期 第 1 四半期	
		(速報値)	前年比
コア業務純益（連結）	83	97	14
経常利益（連結）	91	2	89
四半期純利益（連結）	63	19	82

（単位：億円）

	平成 23 年 6 月末 (実績)	平成 24 年 6 月末	
		(速報値)	前年比
資金量末残（北洋銀行）	68,477	69,707	1,230
貸出金末残（北洋銀行）	50,754	53,626	2,872
金融再生法開示債権（北洋銀行）	1,834	1,823	11
（開示債権比率）	（ 2.76 ）	（ 2.62 ）	（ 0.14 ）

金融再生法開示債権額は部分直接償却前の金額、開示債権比率は部分直接償却後の比率

（単位：億円、%）

	平成 24 年 3 月末 (実績)	平成 24 年 6 月末	
		(速報値)	3 月末比
その他有価証券評価損益（北洋銀行）	608	509	99
自己資本比率（北洋銀行）	10.91	11.2 程度	0.3 程度

資金量 = 預金 + 譲渡性預金

2. 損益の概要（札幌北洋グループ連結）

- ・平成25年3月期第1四半期の連結コア粗利益は、資金利益が前年比6億円増加（うち投信解約損益が前年比18億円増加）したことを主因に、292億円と前年比8億円増加の見通し。
- ・経費（除く臨時処理分）は幅広い削減努力によって194億円と前年比7億円の減少となる見通し。結果として、連結コア業務純益は97億円と前年比14億円増加の見通し。
- ・経常利益は2億円と前年比89億円の減少となる見通し。信用コストは引続き低水準で前年並みとなったものの、有価証券等関係損益が株式の減損処理等によって前年比97億円の減少となったことによる。
- ・北洋銀行の優先株式に対する配当金（14.7億円）を少数株主利益として計上したことなどから、連結の四半期純利益は19億円となる見通し。

【札幌北洋グループ連結】

（単位：億円）

	平成24年3月期 第1四半期 （実績）	平成25年3月期 第1四半期 （速報値）	前年比	平成25年3月期 （中間期計画）
経常収益	427	407	20	811
連結コア粗利益	284	292	8	576
資金利益	231	237	6	
役務取引等利益	48	47	1	
その他業務利益	4	7	3	
経費（除く臨時処理分）	201	194	7	391
連結コア業務純益	83	97	14	184
信用コスト	19	19	0	78
有価証券等関係損益	26	71	97	0
経常利益	91	2	89	113
四半期（当期）純利益	63	19	82	76

連結コア粗利益 = 資金利益 + 役務取引等利益 + その他業務利益（国債等債券関係損益を除く）

連結コア業務純益 = 連結コア粗利益 - 経費（除く臨時処理分）

信用コスト = 貸倒償却引当費用 = 一般貸倒引当金繰入額 + 貸倒損失額 - 償却債権取立益

有価証券等関係損益 = 国債等債券関係損益 + 株式等関係損益 + 金銭の信託運用損益

【ご参考：北洋銀行】

（単位：億円）

	平成24年3月期 第1四半期 （実績）	平成25年3月期 第1四半期 （速報値）	前年比	平成25年3月期 （中間期計画）
経常収益	349	329	20	665
コア業務粗利益	267	276	9	544
資金利益	230	236	6	
役務取引等利益	37	36	1	
その他業務利益	0	2	2	
経費（除く臨時処理分）	197	191	6	384
コア業務純益	70	85	15	160
信用コスト	14	10	4	61
有価証券等関係損益	28	71	99	0
経常利益	86	0	86	106
四半期（当期）純利益	77	7	84	88

3. 主要勘定残高（北洋銀行）

- ・資金量末残は、個人・法人・公金預金が増加し、6兆9,707億円と前年比1,230億円の増加の見通し。
- ・預かり資産末残は、公共債保護預かり、投資信託が減少した一方、個人年金保険等が増加し、7,930億円と前年比370億円の増加の見通し。
- ・貸出金末残は、法人および公金向けを中心に、全ての主体向けの貸出が増加し、5兆3,626億円と前年比2,872億円増加の見通し。
- ・有価証券は、1兆5,608億円と前年比798億円減少の見通し。

【北洋銀行】

（単位：億円）

	平成 23 年 6 月末	平成 24 年 6 月末		
	（実績）	（速報値）	前年比	年率
資金量	68,477	69,707	1,230	1.8%
預かり資産	7,560	7,930	370	4.9%
貸出金	50,754	53,626	2,872	5.7%
有価証券	16,406	15,608	798	4.9%

資金量 = 預金 + 譲渡性預金

預かり資産 = 公共債保護預かり + 投資信託 + 個人年金保険等（販売累計額）

4. 金融再生法開示債権（北洋銀行）

- ・金融再生法開示債権は1,823億円と前年比11億円減少の見通し。
- ・開示債権比率（部分直接償却後）は、2.62%と前年比0.14ポイント改善の見通し。

【北洋銀行】

（単位：億円、%）

	平成 23 年 6 月末	平成 24 年 6 月末	前年比
	（実績）	（速報値）	
破産更生等債権	672	631	41
危険債権	845	846	1
要管理債権	317	345	28
金融再生法開示債権	1,834	1,823	11
（開示債権比率）	（ 3.53 ）	（ 3.32 ）	（ 0.21 ）
部分直接償却後	1,421	1,428	7
（開示債権比率）	（ 2.76 ）	（ 2.62 ）	（ 0.14 ）

当グループでは部分直接償却未実施ですが、参考として部分直接償却を実施した場合の計数を記載しております。

開示債権比率 = 金融再生法開示債権 ÷ 総与信 × 100

5. その他有価証券の評価損益（北洋銀行）

- ・北洋銀行のその他有価証券の評価損益は、509 億円と 3 月末対比 99 億円減少の見通し。

【北洋銀行】

（単位：億円）

	平成 24 年 3 月末	平成 24 年 6 月末	
	（実績）	（速報値）	3 月末比
その他有価証券	608	509	99
株式	189	183	6
債券	273	316	43
その他	146	9	137

<ご参考>

	平成 24 年 3 月末	平成 24 年 6 月末	3 月末比
日経平均株価（円）	10,083	9,006	1,077
新発 10 年国債利回り（%）	0.985	0.830	0.155

6. 自己資本比率（概算値）

- ・24 年 6 月末の自己資本比率（概算値）は、北洋銀行で 11.2%程度と、3 月末対比で 0.3 ポイント程度上昇の見通し。

【北洋銀行】

（単位：%）

	平成 24 年 3 月末	平成 24 年 6 月末	
	（実績）	（概算値）	3 月末比
自己資本比率	10.91	11.2 程度	0.3 程度
Tier 比率	7.59	7.8 程度	0.2 程度

以 上

業績速報につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

実際の業績は、様々な原因によりこれらの業績速報値とは異なる可能性があります。